



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社 竹内製作所 上場取引所 東
 コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小林 修 TEL 0268-81-1200
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	91,483	4.2	10,696	△15.4	10,446	△18.7	7,565	△19.6
2019年2月期第3四半期	87,801	18.3	12,637	11.9	12,845	11.8	9,411	19.1

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 6,577百万円 (△29.7%) 2019年2月期第3四半期 9,351百万円 (24.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	158.63	—
2019年2月期第3四半期	197.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	109,162	81,589	74.7
2019年2月期	103,557	77,180	74.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 81,589百万円 2019年2月期 77,180百万円

(注) 第1四半期連結会計期間の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を適用しており、2019年2月期の連結財政状態に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,500	3.9	12,000	△22.1	11,800	△23.9	8,550	△24.9	179.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	48,999,000株	2019年2月期	48,999,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	1,312,798株	2019年2月期	1,301,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	47,692,023株	2019年2月期3Q	47,694,688株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式（2019年2月期 47,340株 2020年2月期3Q 58,940株）を自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法

当社は、2020年1月21日に機関投資家及び証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。なお、当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第3四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年11月30日まで）の経済は、概ね以下のとおり推移しました。米国では、米中貿易摩擦の長期化が懸念される中、設備投資は弱含んだものの、雇用・所得環境が引き続き堅調で、住宅市場が勢いを取り戻すなど個人消費は好調を維持しました。欧州では、米中貿易摩擦と英国のEU離脱問題の混迷が続き、製造業の低迷が長期化する中、雇用・所得環境は依然として良好で、個人消費は底堅く推移しました。こうした中、英国では、EU離脱期限の延長により依然として不透明な状況が続きましたが、経済成長を押し下げた輸出等の落ち込みは解消に向かい、個人消費も堅調に拡大しました。

このような環境の中、2019年2月には欧州の第5次排出ガス規制に適合したミニショベルの新製品「TB235-2」及び「TB250-2」を市場投入し、また、北米向け製品のみを搭載されていたGPS機能が付いた情報通信機器を欧州向け製品にも搭載を開始するなど、より付加価値の高い製品ラインナップで積極的な販売活動を展開しました。英国を除く欧州での販売は総じて好調に推移したものの、米国及び英国での販売が伸び悩んだため、当社グループ全体としての製品販売台数は、前年同期に比べ横ばいとなりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は914億8千3百万円（前年同期比4.2%増）となりました。利益面につきましては、拡販に向けて政策的な販売価格を設定したこと、製造原価及び運搬費が増加したこと、並びに前年同期に計上されていた貸倒引当金の戻入が当第3四半期連結累計期間は繰入となったこと等により、営業利益は106億9千6百万円（同15.4%減）となり、経常利益は104億4千6百万円（同18.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を28億8千万円計上したため、75億6千5百万円（同19.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

日本セグメントは、売上高のほとんどが欧州ディストリビューター向けの販売で占められております。2018年3月に市場投入したミニショベル「TB225」が引き続き販売好調で、2019年2月に市場投入したミニショベル「TB235-2」及び「TB250-2」も好調に滑り出しました。欧州向けのミニショベル、油圧ショベルの販売台数が増加したこと等により、売上高は348億4千8百万円（前年同期比15.7%増）となりました。セグメント利益は、拡販に向けて政策的な販売価格を設定したこと、子会社向けの製品販売価格を引き下げたこと、並びに製造原価及び運搬費が増加したこと等により、75億1千4百万円（同17.0%減）となりました。

② 米国

住宅工事、インフラ工事を中心に製品需要は高い水準を維持しております。天候不良の影響で上期から下期に先延ばしにされていた製品販売は、当第3四半期以降に回復しているものの、上期で下回った分の全てを挽回するには及びませんでした。また、買入部品の調達制限の影響で米国セグメント向けの製品出荷を制限したことも影響し、ミニショベル及びクローラーローダーの販売台数は減少しましたが、プロダクトミックスの変化等により、売上高は427億1千1百万円（前年同期比1.6%増）となりました。セグメント利益は日本セグメントからの製品仕入価格の値下げ等により、27億5千4百万円（同17.4%増）となりました。

③ 英国

英国内の住宅工事やインフラ工事は旺盛なものの、EU離脱問題の長期化を背景に景気停滞感が強まる状況の中、製品購入に慎重な顧客が増加したため、ミニショベルの販売台数は減少しました。この結果、売上高は87億7千4百万円（前年同期比15.7%減）となり、セグメント利益は5億2千5百万円（同7.9%減）となりました。

④ フランス

2018年3月に市場投入したミニショベル「TB225」が引き続き販売好調であり、ミニショベル、油圧ショベルの販売台数が増加しました。この結果、売上高は49億3千5百万円（前年同期比2.0%増）となり、セグメント利益は、2億2千万円（同23.8%増）となりました。

⑤ 中国

ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が減少したこと等により、売上高は2億1千3百万円（前年同期比44.8%減）となりました。セグメント利益は、前年同期に計上されていた貸倒引当金の戻入が当第3四半期連結累計期間は繰入となったこと、及び日本セグメントへの部品供給が減少したこと等により、2千6百万円（同92.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ56億5百万円増加し、1,091億6千2百万円となりました。これは主に、たな卸資産が36億4千8百万円減少し、法人税等の納付及び配当金の支払により現金及び預金が14億6千6百万円減少しましたが、売上の増加により受取手形及び売掛金が82億2千5百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ11億9千6百万円増加し、275億7千3百万円となりました。これは主に、未払法人税等が15億7千5百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が14億3千1百万円、流動負債のその他が12億6百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ44億8百万円増加し、815億8千9百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が75億6千5百万円増加しましたが、配当金の支払により21億4千8百万円減少したこと等によるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年10月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日(2020年1月10日)公表いたしました「2020年2月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想における第4四半期以降の為替レートは、1米ドル=108円、1英ポンド=141円、1ユーロ=120円、1人民元=15.5円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,072	33,606
受取手形及び売掛金	23,156	31,381
商品及び製品	23,283	19,343
仕掛品	1,392	1,208
原材料及び貯蔵品	5,464	5,939
その他	2,411	3,299
貸倒引当金	△1,100	△1,033
流動資産合計	89,680	93,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,144	6,376
機械装置及び運搬具(純額)	1,337	1,915
土地	2,033	2,040
その他(純額)	1,574	924
有形固定資産合計	10,089	11,257
無形固定資産	556	610
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,527	1,365
その他	1,723	2,203
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	3,229	3,547
固定資産合計	13,876	15,415
資産合計	103,557	109,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,561	21,992
未払法人税等	1,902	327
賞与引当金	224	237
製品保証引当金	1,509	1,741
その他	1,619	2,826
流動負債合計	25,818	27,125
固定負債		
役員株式給付引当金	28	38
退職給付に係る負債	52	51
その他	476	358
固定負債合計	558	447
負債合計	26,376	27,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	71,305	76,722
自己株式	△1,965	△1,985
株主資本合計	76,605	82,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	420	△431
退職給付に係る調整累計額	150	15
その他の包括利益累計額合計	575	△412
純資産合計	77,180	81,589
負債純資産合計	103,557	109,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	87,801	91,483
売上原価	68,823	73,455
売上総利益	18,977	18,028
販売費及び一般管理費		
運搬費	2,320	2,771
製品保証引当金繰入額	899	861
貸倒引当金繰入額	△191	2
債務保証損失引当金繰入額	△15	—
役員報酬	148	162
給料及び手当	1,204	1,292
賞与引当金繰入額	66	93
退職給付費用	16	24
役員株式給付引当金繰入額	7	9
その他	1,883	2,114
販売費及び一般管理費合計	6,340	7,332
営業利益	12,637	10,696
営業外収益		
受取利息	41	82
受取配当金	1	1
為替差益	105	—
その他	79	60
営業外収益合計	229	144
営業外費用		
固定資産除却損	10	47
為替差損	—	344
デリバティブ評価損	10	—
その他	0	2
営業外費用合計	21	394
経常利益	12,845	10,446
特別利益		
事業譲渡益	198	—
特別利益合計	198	—
税金等調整前四半期純利益	13,043	10,446
法人税、住民税及び事業税	3,439	2,801
法人税等調整額	191	79
法人税等合計	3,631	2,880
四半期純利益	9,411	7,565
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,411	7,565

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	9,411	7,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	0
為替換算調整勘定	△9	△852
退職給付に係る調整額	△37	△135
その他の包括利益合計	△59	△987
四半期包括利益	9,351	6,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,351	6,577
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	30,109	42,055	10,409	4,840	387	87,801	—	87,801
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	43,084	0	25	48	2,482	45,642	△45,642	—
計	73,194	42,055	10,435	4,889	2,869	133,444	△45,642	87,801
セグメント 利益	9,052	2,346	570	177	369	12,516	120	12,637

(注) 1. セグメント利益の調整額120百万円には、セグメント間取引消去1,013百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△892百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	34,848	42,711	8,774	4,935	213	91,483	—	91,483
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	45,355	—	21	9	1,296	46,683	△46,683	—
計	80,204	42,711	8,796	4,944	1,510	138,166	△46,683	91,483
セグメント 利益	7,514	2,754	525	220	26	11,040	△344	10,696

(注) 1. セグメント利益の調整額△344百万円には、セグメント間取引消去590百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△934百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。